

## SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター  
研究調整部

## ◎平成25年6～7月の運転・利用実績

SPring-8は6月3日から6月29日までセベラルバンチ運転で第3サイクルの運転を行い、7月1日から7月19日までセベラルバンチ運転で第4サイクルの運転を実施した。第3サイクルでは軌道変動によるアボート等による停止があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間(ユーザータイム)内での故障等による停止時間(down time)は、第3サイクルは約0.4%であった。

放射光利用実績(いずれも暫定値)については、実施された共同利用研究の実験数は、第3サイクルは合計261件、利用研究者は1,256名で、専用施設利用研究の実験数は合計231件、利用研究者は846名であった。第4サイクルは合計168件、利用研究者は777名で、専用施設利用研究の実験数は合計143件、利用研究者は531名であった。

## 1. 装置運転関係

## (1) 運転期間

第3サイクル(6/3(月)～6/29(土))

第4サイクル(7/1(月)～7/19(金))

## (2) 運転時間の内訳

第3サイクル

運転時間総計 約624時間

①装置の調整およびマシンスタディ等  
約97時間

②放射光利用運転時間 約525時間

③故障等による down time 約2時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)  
に対する down time の割合 約0.4%

第4サイクル

運転時間総計 約431時間

①装置の調整およびマシンスタディ等  
約119時間

②放射光利用運転時間 約312時間

③故障等による down time 0時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)  
に対する down time の割合 0.0%

## (3) 運転スペック等

第3サイクル(セベラルバンチ運転)

- ・203 bunches
- ・1/7 filling + 5 bunches
- ・11/29 filling + 1 bunch

第4サイクル(セベラルバンチ運転)

- ・11 bunch train × 29
- ・入射は電流値優先モード(2～3分毎(マルチバンチ時)もしくは20～40秒毎(セベラルバンチ時))のTop-Upモードで実施。
- ・蓄積電流 8 GeV、～100 mA

## (4) 主な down time の原因

- ・SR RF B-st cav 反射異常
- ・軌道変動によるアボート

## 2. 利用関係

## (1) 放射光利用実験期間

第3サイクル(6/4(火)～6/29(土))

第4サイクル(7/4(木)～7/17(水))

## (2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン	26本
専用ビームライン	18本
理研ビームライン	9本
加速器診断ビームライン	2本

第3サイクル(暫定値)

共同利用研究実験数 261件

共同利用研究者数	1,256名
専用施設利用研究実験数	231件
専用施設利用研究者数	846名

第4サイクル(暫定値)

共同利用研究実験数	168件
共同利用研究者数	777名
専用施設利用研究実験数	143件
専用施設利用研究者数	531名

◎平成25年7～9月の運転・利用実績

SPring-8は7月20日から9月23日まで夏期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行った。

◎今後の予定

SPring-8は9月24日から11月3日までセベラルバンチ運転で第5サイクルの運転を行い、11月4日の停止をはさみ、11月5日から11月30日までセベラルバンチ運転で第6サイクルの運転を実施する。第5～6サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。